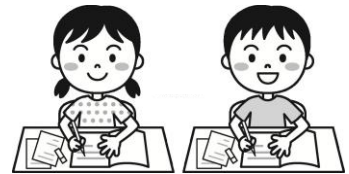


令和4年度 学力・学習状況調査の結果について

4月19日に、全国の小学校6年生を対象に「学力・学習状況調査」が行われました。子供たちの学力や学習状況の現状を把握・分析し、成果と課題を検証することで、その後の指導の充実や学習改善に役立てるためのものです。本校の調査結果と分析がまとまりましたので、概要をお知らせいたします。

(1) 学力に関する調査【国語・算数・理科】

**国語・算数・理科の三教科とも、全国、静岡県
の平均正答率を上回りました。**



【国語】

よくできた（正答率が高かった）内容	努力を必要とする（正答率が低かった）内容
<ul style="list-style-type: none"> ○話し言葉と書き言葉の違いを理解する。 ○話合いの様子の一部を読み、中心を捉える。 ○物語を読んで、描写を基に場面の内容を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●立場や意図を明確にして、自分の考えをまとめる。 ●文章に対する感想や意見の根拠を述べる。

☆文章を読んで、事実や中心を捉えることができています。読む力が付いているといえます。自分の考えをもつことはできますが、意図や根拠を明確にして考えを書くことは苦手なようです。学校では、低学年から文章に書き慣れること、作文を推敲する活動に力を入れていきたいと考えています。

【算数】

よくできた（正答率が高かった）内容	努力を必要とする（正答率が低かった）内容
<ul style="list-style-type: none"> ○整数の乗法の計算 ○問題場面を解釈し、数字を入れ替えて説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●条件に合わせて概算する。 ●割合の意味を理解する。 ●プログラムを考察し、記述する。

☆基礎的な知識や技能は身に付いているといえます。まじめに学習に取り組んでいることが結果に表れています。一方で、知識の活用、思考力を伴う問題、考えを記述することに苦手意識があるようです。学校では、既習のことを振り返って見通しを立てることや友達の考えを自分の言葉で言い換えて活用することを授業の中で取り入れていきたいと考えています。



【理科】

よくできた（正答率が高かった）内容	努力を必要とする（正答率が低かった）内容
<ul style="list-style-type: none"> ○実験器具の名前や使い方に関すること。 ○観察の視点を基に問題解決の道筋を構想する。 ○観察結果から分析・解釈し自分の考えをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●考えの根拠を、結果を基にして書く。 ●実験の過程や得られた結果を適切に記録する。

☆児童質問紙の「理科の勉強は好きですか」という質問に、90%の子が「当てはまる」と答えました。本校の理科の正答率は、全国や静岡県の平均正答率と比べてみても高い結果でした。問題・予想・結果をしっかりと意識して授業に取り組み、力を付けていることがうかがえます。国語の結果とも共通しますが、自分の考えをもつことはできるものの、目的に応じて記述することが苦手なようです。学校では、より自分ごととして考えられるような授業を展開すること、理科言葉をできるだけ使って記述する場面を設定することに重点を置いていきたいと考えています。



(2)学習状況に関する調査【児童質問紙】

児童質問紙調査は、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査です。質問は小中学校ともに全部で69項目あります。その中から、本校の子供たちの様子について顕著なものをお知らせいたします。



【よい表れ】

- 自分には、よいところがあると思う。
- 人が困っているときは、進んで助けている。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- 自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある。
- 地域の行事に参加している。
- 授業で、タブレットなどのICT機器を活用している。
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。
- 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないのかを考える。
- 国語の勉強が大切だと思う。
- 理科の勉強が好き。理科の授業の内容がよく分かる。

☆本校の子供たちは自己肯定感が高いです。御家庭・学校で、頑張りを認めたり励ましたりする声掛けをすることが子供たちの支えになり、よい結果として表れていると思います。思いやりの心、規範意識の高さもうかがえます。

☆自然の中での遊びや地域の行事への参加についての意識の高さは、保護者や地域の皆様のお力があってこそだと思います。学校では経験できないことを御家庭や地域で体験できていることに感謝しています。ありがとうございます。

☆ICT機器の活用については、県や全国と比べても大変高い結果が出ています。学校では、一人一人の教員が子供たちの考えを広げたり、深めたりする効果的なICT機器の活用について研修をし、様々な場面で活用しています。今後も引き続き、研修を深めてまいります。



【課題となる表れ】

- 「ゲームや動画視聴の時間」についての質問で、「4時間以上」と答えた子の割合が高い。
- 「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。」という質問に対して、「守っている」と答えた子の割合が低い。
- 「毎朝、同じくらいの時刻に起きていますか。」という質問に対して「起きている」と答えた子の割合が低い。

☆ゲームや動画の視聴については、目が悪くなる、生活習慣に影響が出る…といったデメリットについて学校や御家庭でも子供たちに繰り返し伝えてはありますが、なかなか子供たちの意識が改善されない現状です。学校でも保健指導や学活等で指導を続けていきますが、御家庭でもお子さんと一緒にルールについてもう一度御確認ください。保健だより10月号にも「目の愛護デー」にちなんで、ゲームをする時のルールについて掲載していますので、ぜひ御活用ください。

☆学校だより「1学期末学校評価のまとめ」でもお知らせしましたが、「早寝早起き」は健康な生活を送るために必要な生活習慣です。9月の健康観察カードに、早寝早起きに関する欄を設け、御家庭にも御協力をいただき、ありがとうございました。保健だより10月号「早寝早起き号」にて睡眠の大切さについてお知らせいたしました。子供たちの意識も高まっていると思います。引き続き、御家族で「早寝早起き」を続けてくださるとありがたいです。よろしくお願いいたします。

今後も、御家庭と地域、学校とが連携して、子供たちを育てていきたいと思っております。御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

担当 教務 塩谷涼子